



熱中症を防ぐために



～熱中症を防ぐためには、現場管理者の教育が欠かせません～

熱中症予防 管理者研修

主 催 一般社団法人 名北労働基準協会

熱中症は、適切な処置を怠り、手遅れになると死に至る疾病です。

6月からの夏季を迎えますと、建設業、製造業のみならず業種を問わず、屋内外の高温多湿な作業環境下で働く労働者を中心に熱中症が頻発しており、さらには、職場・工事現場等で熱中症が発生した場合、企業の管理責任を問われ、被災者から民事上の損害賠償請求が行われる場合も考えられます。

熱中症の防止には、現場管理者による適切な作業管理と迅速な対応が不可欠となっており、管理者に対する教育が重要で、厚生労働省も平成21年6月通達並びに平成28年基安発第0229第1号にて、

「熱中症予防管理者の選任」を行うよう求めています。

そこで当協会では熱中症対策のキーマンである、各職場・各工事現場の管理者の方を対象とした「熱中症予防管理者研修」を開催いたします。熱中症を起こさせない職場・現場環境づくりと、適切な対応実施のためぜひともご活用ください。

愛知における年別熱中症発生状況

【休業4日以上労働災害】

発生年	休業	死亡	合計
平成19年	21	2	23
平成20年	19	1	20
平成21年	8		8
平成22年	39	3	42
平成23年	30	1	31
平成24年	33	1	34
平成25年	39	3	42
平成26年	17		17
平成27年	19	4	23
平成28年	29	1	30
合 計	254	16	270

*平成28年データは速報値。

時期・温度と熱中症発生件数の関係（愛知県・過去5年）

	5月			6月			7月			8月			9月		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
38℃									2	4					
37℃							3	3	1	7	3	3			
36℃			1				1	1	11	3	1	1			
35℃							3	1	6	6			1		
34℃							1	5	7	10	3				
33℃							2	3	1		4	1			
32℃			1				1			1		1			
31℃				1			2		1						
30℃					4		2		1			1			
29℃					1		1		1						
28℃	1	1					1					1			
27℃		1							1		1				
26℃									1						

*平成28年データは速報値。



日 時 ①平成30年 5月25日（金）
②平成30年 6月15日（金） のいずれか一日
午後1時15分から午後4時55分

会 場 （一社）名北労働基準協会 3階 大会議室

講 師 中災防中部安全衛生サービスセンター

安全管理士・衛生管理士 各 務 博 幸 氏

- 内 容
- 熱中症の症状
 - 熱中症の予防方法
 - 緊急時の救急措置
 - 熱中症の事例

講師からのわかりやすい説明と予防用品の取扱い方法の説明も行います。

対 象 職長、安全衛生責任者、衛生管理者、安全衛生推進者等

定 員 50名（定員になり次第締め切ります。）

費 用 会員 5,400円 非会員 6,480円

（テキスト 中災防「熱中症予防対策の基本」及び消費税含む）

修 了 証 参加者には「修了証」を交付いたします。

テキスト「熱中症予防対策の基本」

